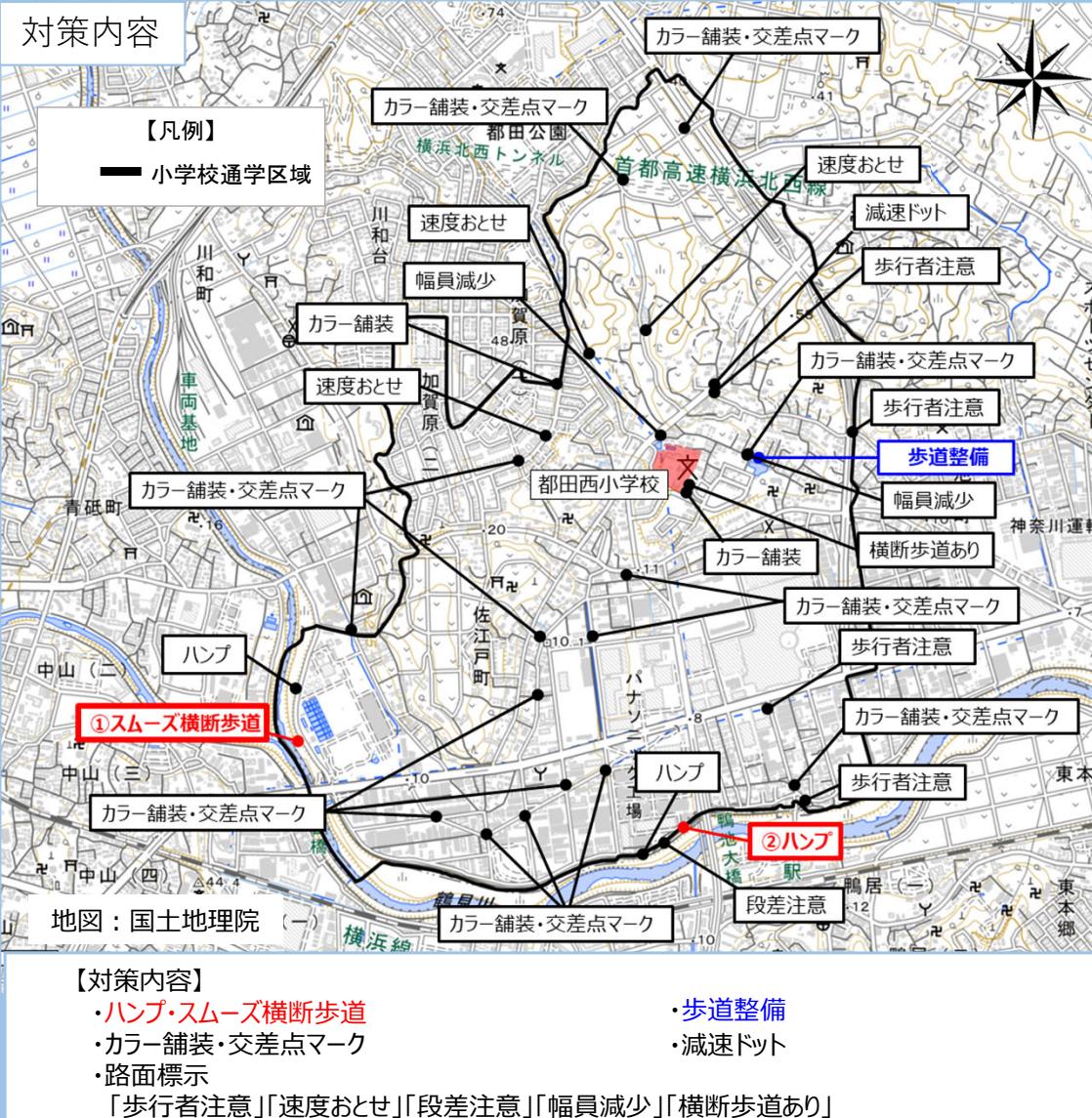
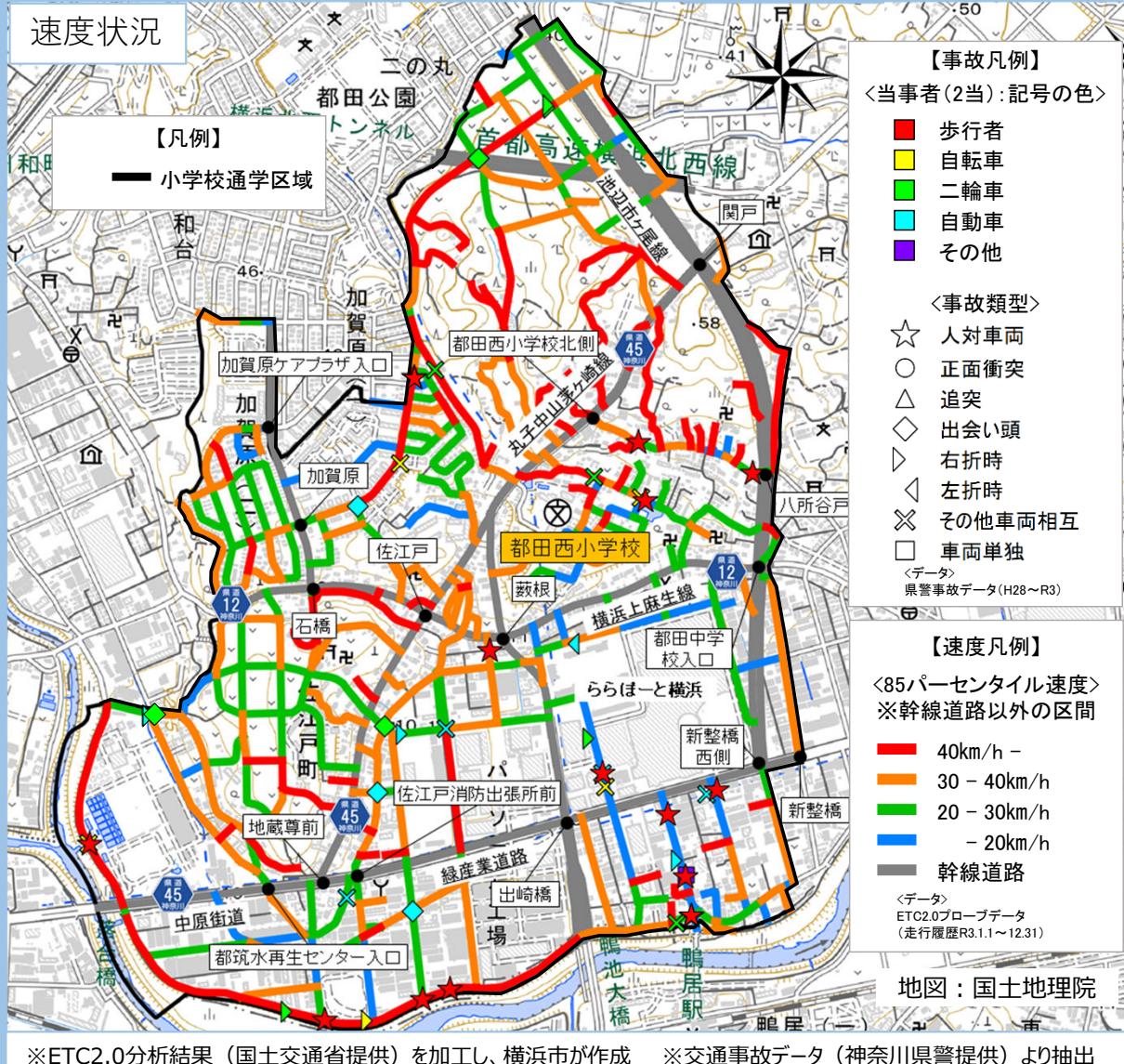
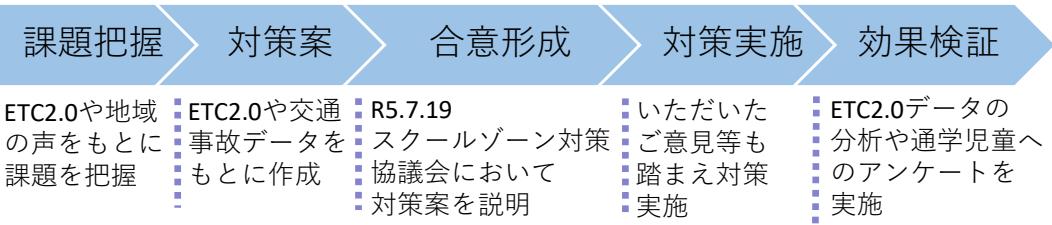


速度状況と対策内容

ETC2.0から得られた車両速度データや交通事故データなどをもとに対策を立案し、学校や地域との協議を経て対策を実施した。安全な歩行空間を整備するために、調整池用地の一部を歩道として整備した。また、速度が高い川沿いの路線においては、ハンプやスマーズ横断歩道を設置し、速度抑制を図った。



交通安全対策取組フロー



スクールゾーン対策協議会からの主要要望

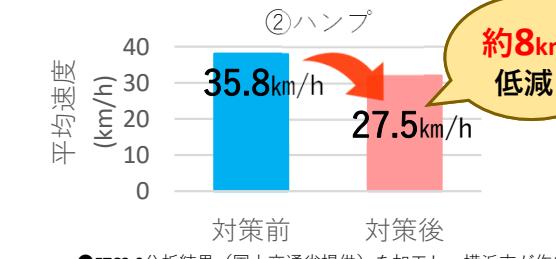
小学校の南門前は送迎の車が停まっていて見通しが悪く、児童が多く利用するので路面表示などを設置してほしい。

放課後、小学生との接触事故があったこともあり、道路拡幅や歩道設置などの対策を検討・実施してほしい。

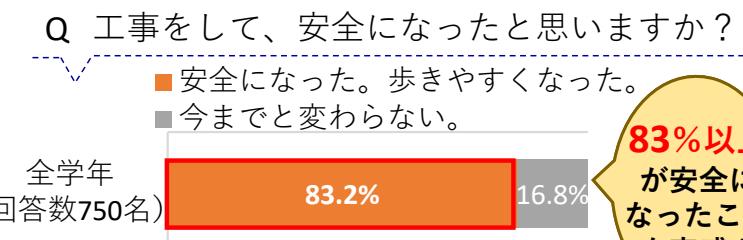
歩道整備



走行速度の分析効果比較



児童向けアンケート



前までは歩道がなかったからちょっと歩きずらかったけど、歩道ができたらすぐ歩きやすくなかったです。 都田西小学校児童（4年生）

横断歩道で渡る時待っていたら車が走り去らずしっかり止まってくれるようになった。 都田西小学校児童（5年生）

ソフト対策

都筑区 都田西小学校

【対策方針】

○課題や対策の共有、対応の具現化

地域の実態把握、危険個所の共通理解を図り、学校、保護者、地域が一体となり、取り組んでいけるようにする

○交通安全についての理解

児童一人ひとりが、実践力を身に付ける

【こども・安全安心マップ】 引用:Googleマップ



■ 対策事例

商業施設での館内放送



地域商業施設で「年末の交通事故防止運動実施」の館内放送(録音)を実施

【学校からのコメント】

多くの人に呼びかけることの大切さを実感し、館内放送以外に、自分たちでできることを考える機会になった

放課後キッズクラブ交通安全教室 (実施日:令和5年8月22日 参加人数:85名)



下校時間が遅く1人で帰ることの多い放課後キッズクラブの児童向け、道路局職員が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

標識の意味など交通ルールに関するチーム対抗のクイズ形式

はまっこ交通安全教室 (実施日:令和5年10月27日 参加人数:288名)



道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を乗り始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導 (実施日:令和5年10月24日ほか2回実施 参加人数:計124名)



未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】

ゆうぽーと保育園、ブライト保育園横浜佐江戸、クリオスキッズ鴨居駅前保育園